

Capo.3 1-2IL(E_m)

Capo1 オープンD

Cap

春時雨

E_m D E_m E_m D E_m E_m D E_m E_m D E_m

さっきまで晴れていたのに 手にした傘広げた時は

アスファルト濡らした1人でなく

流れる雨に変わっていた

もしかしたら自分が気づかずにいるだけで

もうすでに嫌われているのかも知れない

人の心を見ようと色々気にしすぎていると

見えたいものが見えてきてしまう

それは良かったこと

春時雨 打たれるしかない

じっとガマンするしかない

そのうち降りやみ また晴れてくる時

いたすら待つしかない

1-2IL + オープンD

昨日のことは忘れてしまおう よくあることだから

何故あの時 あんなふうに

言われたんだらうかなと

もしかしたら自分がわかっているだけ

もうすでに周りの人は知っているのかもしれない

下手に繕うとしても わざとらしいだけで

知られたくないこと 知られるだけで

それも良かったこと

春時雨 打たれるしかない

じっとガマンするしかない

そのうち降りやみ また晴れてくる時

いたすら待つしかない